

令和8年度 よつば学級 学級経営案

男 4人 女 0人 合計 4人 担任 深水 碧

学 校 教 育 目 標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前っ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るいいあいさつ、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもくそうじ
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学 級 目 標

「大切にする」人やものを大切にできる児童

「最後まで頑張る」何事にもあきらめず最後までやり通すことができる児童

具 体 的 な 取 組

評 価

I II III

目指す児童像	かしこく 確かな学力	1	スモールステップで個別指導を行い、繰り返し復習することで、基礎的・基本的な学習の定着を図る。			
		2	学習の流れを提示し、見通しをもって最後まで取り組むことができるようにする。			
		3	個に応じた場の設定やワークシートを活用し、学習内容の定着を図る。			
		4	朝自習では読書の時間を設定し、本に親しみをもつことや読む速度、読解力向上を図る。			
	なかよく 豊かな心	1	SST 学習を取り入れ、友達との関わり方を学習し日常生活に繋がるようにする。			
		2	交流学級の友達と共同学習する場を計画的に設定し、交流を深める。			
		3	自分の持ち物の整理整頓、後片付けができ、ものを大切にすることを育てる。			
	元気よく 健康な体	1	就寝・起床時刻の確認を通して、規則正しい生活習慣の定着を図る。			
		2	元気なあいさつや返事ができるようにする。			
		3	外遊びや体育授業に積極的に参加することができるようにする。			
	郷土愛	1	現地見学や体験学習において、事前に交流の内容や目的等について確認し、地域の方とのかかわりを楽しむことができるようにする。			
		2	調べ学習や体験学習等を通して、地域を理解し、自分が住む郷土のよさを感じることができるようにする。			
特別支援教育 人権教育	1	写真やカード等の視覚支援を行い、学習の理解を深める。				
	2	帰りの会で、自分や友達の頑張りを発表する場を設けることで、自他のよさを認め合うことができるようにする。				
	3	交流学級担任や支援員の先生方と情報共有や共通理解を図り、児童の実態に応じた支援を行うようにする。				
他 その	1	花や野菜の栽培活動を通して、自然を大切にすることを育てる。				
	2	学校のきまりや交通ルールの確認を行い、安全への意識を高める。				
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）						